



伊勢崎 spring 授業 ～清明高校との交流授業～ を実施しました

地域連携の一環として、小学校6年生のバスケットの授業に清明高校の1年生が参加する交流授業を行いました。これは、小学生にとって、大きいお兄さんのプレーを憧れをもって見たり一緒にやったりすることはとてもワクワクすると思ったからです。高校生にとっても、小学生に技術面をどのように教えるかを考えることは、競技を深く学ぶよい機会になったのではないかと思います。



高校生と一緒に活動



高校生がこの時間の目標を提示



高校生のダイナミックなプレイ

★伊勢崎 spring 授業

今泉町にある清明高校、上泉町にある南小学校、共通するのは“泉”です。この泉を英語で言うと spring (スプリング) になるので、伊勢崎 spring 授業と名付けました。

★伊勢崎 spring 授業の日程

- 1/16(金) まずは小学生と高校生の顔合わせを兼ねて、簡単なゲームをしました。
その後、高校生とドリブル対決やシュート対決などをして、高校生は小学生のバスケットボールの実力がどんな感じにかかりました。
- 1/19(月) 高校生は、体育の時間に、次に行う内容(プログラム)を話し合いました。
- 1/23(金) 高校生が考えてきたプログラムを実践しました。
1つの班は「手に吸い付くようなドリブル」、もう一つの班は「パスをもらうために動く」をテーマに学習しました。

★子どもたちの感想

2回の授業を終えた子どもたちからは、

- ・パスやドリブルがうまくできるようになった
- ・最初に見せてくれた高校生のようなプレーに少しでも近づけたかなと思った
- ・高校生が簡単にわかりやすく教えてくれた
- ・たくさん褒めてもらった
- ・これからは休み時間にバスケをしようと思った
- ・教えてもらったことをこれから活かしていきたい
- ・姿勢を低くした方が動きやすいと感じた
- ・高校生は無駄な動きが少ないなと思った
- ・めあてがわかりやすかった
- ・だめな見本も見せてくれたので、とてもわかりやすかった
- ・苦手だったドリブルも楽しいと思えるようになった
- ・今度はガードを練習したい



終わりの式

という感想や学びを聞かせてもらいました。まだまだたくさんの意見がありましたが、何といても前の自分と比べている意見が多かったです。そして「高校生のようになりたい」「休み時間もバスケをしようと思う」という感想から、バスケットボールという競技を好きになったと感じます。苦手だったことが好きになるという経験は、子どもたちにとって貴重なものだと思います。まさに南小の合言葉「みんなでワクワク なんでもチャレンジ 笑顔輝く みなみっ子」だったと思います。



最後に集合写真を撮りました

シリーズ 南小の Strong Point ③

今回の企画で改めて感じた南小の子どもたちの強みは次の通りです。

・よく聞き、素直に活動できる

「南小の子は自分たちの説明をよく聞き、一生懸命活動してくれてとてもうれしかった」これは高校生の感想です。人の話をしっかり聞いたり、素直に動いたりすることは、周りの人をいい気持ちにさせてくれます。

・礼儀正しい

最後に感想を発表する場面がありましたが、全て敬語を使った感想でした。

・挨拶がいい

高校生たちが南門から体育館に向かう際、昼休みだったのでいろいろな子どもたちが遊んでいました。その子どもたちがこぞって高校生たちに元気にあいさつをしている姿は、とても誇らしいものでした。